

マルチプレックス免疫組織染色を用いた デジタルパソロジーの実現 — 蛍光多重組織染色から画像解析までをたった1日で —

がん組織中のがん細胞と各種免疫細胞との局在および相互作用の解析は、抗がん剤の薬剤応答を予測する上で非常に重要となります。今回は多様ながん免疫関連マーカーの高感度組織イメージングを実現するマルチプレックス免疫組織染色とデジタルパソロジーをキーワードに、組織の効率的な染色から高精細なイメージング、さらには高精度な画像解析までを、シンプルかつスピーディーに実現できるソリューションご提案いたします。

日時：2020年11月18日(水) 13:30～14:30 (13:00ログイン受付開始)

形式：ウェビナー（オンラインによるWEBセミナー）

※お持ちのPC等端末にてインターネット経由でのご参加となります。インターネットに接続できる環境でお手元のパソコンや各種端末からご参加いただけます。ウェビナー配信サービスには「Webex Event」を利用致します。

参加費：無料（事前登録制）

ご登録はこちらから！



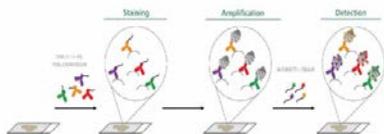
[https://mytrials-apj.webex.com/mytrials-apj-
jp/onstage/g.php?MTID=e0bd741047d8990da2219b70
a17f019ba](https://mytrials-apj.webex.com/mytrials-apj-
jp/onstage/g.php?MTID=e0bd741047d8990da2219b70
a17f019ba)

**Program 1：コスモ・バイオ
13:35～13:50**

『がん免疫研究に有用なマルチプレックス免疫組織染色ツールのご紹介』

PD-1/PD-L1をはじめとした各種がん免疫関連分子を組織切片上で高感度、かつ簡便に多重染色することを可能にしたUltivue社Ultimapper I/O Kitについてご紹介します。

発表者：太田 優



**Program 2：オリンパス
13:50～14:05**

『リサーチスライドスキャナー
VS200ご紹介』

早く、簡単、そしてキレイに。あらゆる種類の組織標本を、定量性に優れたバーチャルスライド画像化します。標本をデジタル化することで普段の実験をより効率的に行い、更には遠隔でのカンファレンスも実現します。

発表者：早坂 徹



**Program 3：Indica Labs
14:05～14:20**

『WSI専用ソフトウェアでマルチプレックス画像解析のご紹介』

画像解析ソフトウェア「HALO」は、腫瘍学/神経科学/代謝/移植科学/毒性病理学などの幅広い研究分野において、デジタル病理スライドを短時間に処理するハイスループット、かつ信頼性の高い最先端の分析ツールです。

発表者：牧野 英哉

